

1セット
1,500円(税込)
(滋賀県国際協会会員価格)
1,000円

「ここは、何色？」 「はじめてのお見舞い」

世界の言葉や文化の多様性、
開発途上国の実情、
地域の多文化共生への理解など、
様々なテーマに合わせて
ご自由にお使いください。
国際教育、人権教育、
外国語活動などの授業や講座など、
幅広く活用いただける教材です。

対象：小学3年生以上

開発途上国などでは子どもや女性の識字率の低さが、依然として大きな課題となっています。
また、現在の日本国内においても、多くの外国籍住民が言葉の壁に苦慮しながら生活をしているという実態があります。
これは、言葉がわからないことから生じる不安な気持ちや、そのことからどのような不利益を被るかなどを疑似体験できるワークショップ教材です。その学習が、
すべての人にとって暮らしやすい多文化共生の学校、まち、社会づくりのために必要な取り組みについて考えるきっかけになればと願っています。



付属 CD (補助資料) には下記の物が収録されています。

<セット内容>

1. 解説書
2. 付属 CD
3. 多言語色辞書ポスター A3 サイズ 12 枚
12 言語 (中国語、英語、スペイン語、ヒンディ、ロシア語、アラビア語、ポルトガル語、ハンガリー語、ドイツ語、フランス語、タイ語、タガログ語)
4. タイ語カード A4 サイズ 32 枚
行き先、果物、色、品物カード 全 32 種

ワーク素材 (各種ワークシート、多言語色辞書等)
世界の言語分布について パワーポイント
外国人学生の体験談 ①②
自治体での多文化共生に向けた取り組み例について
ネパールの識字教室等の写真および動画
ネパール・デウクリ地区タル一族
福祉委員会日本事務所よりコラム
ネパール・デウクリ地区タル一族女性の夢

お問合せ先……

公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931

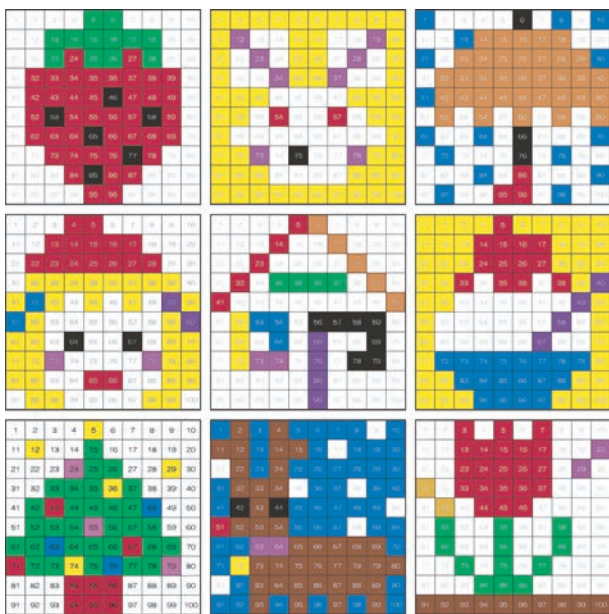
Fax 077-510-0601

E-mail info@s-i-a.or.jp

導入ワーク 「ここは、何色？」

世界にはさまざまな言語があります。一見すると模様や記号にしか見えないものが、学ぶことで意味を持つ“ことば”として理解できるようになるものです。多様な言語に触れる楽しみや、字が読めずに理解できない歯がゆさを子どもから大人まで感じられるように「ぬりえ」という簡単なゲームで体験します。

さまざまな言語で書かれた色の名前を付属の多言語色辞書を使いながら解き明かし、指定された100マスの目に色を塗ると、いろいろな図柄が浮かび上がる楽しいアクティビティです。



出来上がる図柄の例

発展ワーク 「はじめてのお見舞い」

人は、言葉が通じない相手にどのように物事を伝えようとするか、またわからない言葉で何かを伝えようとしている人にどのように対応するのかを疑似体験するゲームです。

伝えたい、伝わらない、わかってあげたいのだけれども、わからないといった歯がゆさや、あまりわからないながらも、通じ合えた喜びなどを体験します。



買いたい品物をジェスチャーで伝える子どもたち

言葉の通じない国で、
指示された買い物をすませて、
無事にゴールの病院まで
たどりつけるかな？

このワークを体験した方々の感想（抜粋）

子どもたちが楽しそうにしている姿が見られるよいプログラムです。文化、伝統、コミュニケーションのもととなる言葉の大切さが体験・勉強できてよかったです。

アラビア語やタイ語などは字なのかな…と思うくらい日本語とはかけ離れていて、これが読めたり書けたりしたらカッコいいだろうなと思いました。

文字が読めないから、ジェスチャーをよく見て、発音や言葉にヒントが隠れていないかに気を付けた。

外国の友だちが学校に来たら、その子がしゃべっている言葉が何語かを調べて、その言葉をなるべく覚えて友だちになりたい。自分も頑張って外国の言葉を覚える。

自分が日本語を指導している外国籍の子どもたちには、ひらがな・カタカナ・漢字、時にはアルファベットが混ざる日本の文章は、さぞかし難解なものなのだろうと改めて感じる事ができた。

いろいろな国の言葉があったけど、意外と似ているのも多くて面白かった。

(同級の外国籍生徒の体験談を聞いて) 日本語をしゃべれなくて苦労していたことをはじめて知った。今は、下校中日本語で話しながら帰っているし、みんなと仲良く遊べていることが不思議に思った。すごいと思った。

ジェスチャーをして自分がわかっていても、相手がわかっていないと意味がないという不安でいっぱいだった。

わからない文字は、何を伝えるものでもなく、単なる記号や絵のようにしか見えないものだと思います。でも、情報やヒントを与えられ手助けされることによって、理解できるようになるのだということにも気がきました。

字が読めない生活をしたことがない私にとっては、よい経験になりました。非識字について考えるきっかけになったと思います。